双葉町のまちづくりは これからが本番！

石上（いしがみ）　崇（たかし）

一般社団法人ふたばプロジェクト 事務局長

昭和51年（1976）、双葉町生まれ。
双葉町役場に勤務。震災後は秘書広報課の職員として、全国に避難した
全町民へのデジタル情報発信に力を注ぐ。2016年から復興推進課で
復興計画策定に携わった後、2019年4月から派遣という形で現職。
「ふたばプロジェクト」の立ち上げ、運営の主力として活躍している。

仙台に出向中に大震災と原発事故が起き、故郷に帰れないまま埼玉に設置された
町役場支所へ向かいました。間もなく任期満了という時期の出来事でした。
双葉町は2020年3月に一部区域が避難指示解除になったばかり。
私もいわき市にある事務所から毎日のように双葉町へ通っています。
まだ町民が戻っていない、誰も住んでいない町で、未来をどう描いていくか…。
課題にぶつかりながらも仲間とともに住民帰還の準備を進めています。
町民の避難生活は本当に先が見えないものでした。
そんななか、2022年春にようやく役場本体機能が双葉町に戻ることになり、
町民の帰還もはじまることになりました。その方針が示されたとき、ようやく
「光が見えた！」と感じました。時期が示されたことで、さまざまな課題を前向きに
考えられるようになり、少しずつ将来のビジョンを描けるようになりました。
町は85％の帰還困難区域を残すマイナスからのスタート。むしろここからが
本番です。これからも町と連携しながらさらに前へと進めていきます。
「ふたばプロジェクト」も町民をはじめ、多くの応援してくださる人との繋（つな）がりを
大切にしながら、笑顔で安心して暮らせる双葉町を目指してチャレンジしていきます。

「ふたばプロジェクト」は町と人、人と人を繋ぎ、
官民連携・協働のまちづくりを目指す